

中施策評価書

作成日 平成30年 11月 8日

中施策事業名	市有財産管理事業	部課名	市民生活部・総務課
		作成者	佐藤浩一

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	市の財産
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市有財産が効率的に管理されている また、不要になったものは、売却することで収入に充てられている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	管財調達係が管理する市有財産の総括、市有財産の処分、他の課に属しない市有財産の 取得管理及び賃借契約、市有財産の保険、市有財産台帳及び財産の公表、土地取得特別 会計、土地開発公社、土地開発基金

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
不要市有地の売却 件数	事業実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	目標値	1	1	1	1	1	1
	実績値	0	0				
単位	件						
	事業実施年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 総事業費 (a+b)				13, 024千円	13, 658千円	
	a 事業費合計			7, 115千円	7, 813千円	9, 512千円
	人 件 費	正規職員	人数	1 人	1 人	
			b 金額	5, 909千円	5, 845千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0. 25 人	0. 25 人	
			金額	257千円	255千円	
		人件費合計			6, 166千円	6, 100千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				13, 024千円	13, 658千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				190 円	199 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	あまり貢献できなかった	×	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	やや改善が必要	△	B
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	平成29年度売却予定地は入札申し込みが無かったことによるもの。ただし問い合わせそのものはあり、引き続き売却事務を進め計画の達成に寄与したい。 その他計画外の市有地（主に市道）は数件売却や交換物件あり。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	売却可能な用地の順位付けを適宜進める。 市内不動産業者への物件紹介を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	より適正な維持管理に努めるが、売却により管理対象物件を減らす。 売却が進まない場合は、利用形態等条件付の貸し出しも検討する。 市内不動産業者に対して当該物件の案内を依頼する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況	平成29年度売却できなかった土地について再度競売を実施する。	
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況	用地の適正な維持管理はおおむね達成されている。	